

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名		保護者等数（児童数）				回収数	割合	
スマイル		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4	0	0	2		
	2	職員の配置数や専門性は適切である	2	0	0	3		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に	3	0	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	0	1		
適切 な支 援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4	1	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上	3	1	1	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3	2	0	0		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	1	1		
適	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4	0	1	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4	0	1	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	2	1	1	0	行われているがまだ参加していない	行われた際には、各保護者に周知し参加しやすい体制を整える
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	1	0	0		

切 な 支 援 の 提 供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	1	1	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	1	1	0		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3	2	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4	1	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3	2	0	0		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3	1	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2	1	1	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0	2	0	3		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	5	0	0	0		
	23	事業所の支援に満足している	4	1	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Cocoroスマイル				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	パーテーションをおいて環境を区切っている	トイレが一つということで待つ時間が長すぎる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	人員が手薄の時には声を掛け合う	人員が最小限の時にはどのように動くのがいいのか会議で話し合いを行う。スタッフが必要な所とそうではないところを見極める。マンツーマンになっているときに他が手薄になる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	イラストやタイマーを使用し見通しを持っているようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	昼食後おやつ後に掃除をしている。パーテーションを使用し空間を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	適宜話し合いを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	管理者を通してスタッフ間に共有されている。	保護者様の意向を把握しきれない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ホームページを更新している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	きちんと外部の評価を得ている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	毎月、決められた研修を持っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	面談を行いスタッフと一緒に計画をたてている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	専門職を中心にアセスメントをとっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	家庭の思い等をいれつつ支援内容を決めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別にどのような対応が必要かを踏まえた上で作成されている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	スタッフ間で話し合って決定している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	文章を渡し保管している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	スタッフ間で話し合って決定している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎週プログラムを変えている。月に1回全スタッフから活動の提案をだし会議に決定している。社員・パートも含めて活動内容を募集している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	日により対象児童を変えて支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	ミーティングを行っている。当日の活動内容の確認（前日の内容を振り返り）	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	管理者が声をかけてくれ話し合いを行っている。当日できなければ翌日の朝に確認されている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	ファイリングされ残されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	専門職が配置されている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保育園と情報共有されている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	0		対象児童がまだいない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			研修を受けている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		機会がないので、交流の機会を設ける。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳等を通して共通理解をしている。送迎時にお話をしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	文章を出している。		
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	面談などで説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	場合によって面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		今年度は保育参観的なものもあるので、そこで交流を持ってもらえたらと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	職員感でも共有している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	書庫に保管されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	写真や動画を提供している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		今後設けていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	書類等で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ミーティングでも共有されている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		そういった事例はないが、会議を行い話し合いが行われる。	